

平成30年度 沖縄県障害者虐待防止・権利擁護研修①

手をつなぐ・うちな〜
知的な障がいのある人と共に
♪ 県育成会のHPにも掲載中♪



沖縄県手をつなぐ育成会が沖縄県より事業委託を受けている「平成30年度沖縄県障がい者虐待防止・権利擁護研修」の福祉施設従事者等セミナーにて、開催しました。

この研修は、障害者虐待防止法の円滑な施行を図るため、国が各都道府県における障害者の虐待防止や権利擁護に関する研修の指導的役割を担う者を養成することを目的としており、本年8月に東京で行われた厚生労働省による指導者養成研修の伝達研修であります。

例年、厚労省より発表されます虐待実績数は氷山の一角であり、その実態把握が困難な状態な事は誰もが認識しています。国も虐待防止施策に力を入れるために例年以上に力を入れ始め、埼玉県でも本年4月より、「埼玉県虐待禁止条例」として、施設職員への虐待防止研修の義務化が条例化しました。

沖縄県でもこの事態を重く受け止めて、本年度は約100名の受講生を追加し、研修に取り組んでいます。

発行所
沖縄県手をつなぐ育成会
那覇市首里石嶺町4-373-1
沖縄県総合福祉センター内
TEL 098 - 882 -5727
FAX 098 - 882 -5720
E-mail: oki-iku@woody.ocn.ne.jp
HP: http://www.oki-iku.com/
発行人 理事長 田中 寛
定価 50円(会費を含む)

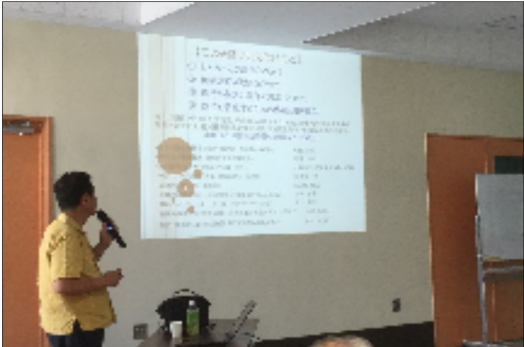
【目次】

P1	県虐待防止研修①・虐待防止研修(名護)
P2	文化祭り①
P3	文化祭り②・心の輪審査会・JICA講演
P4	理事長予定・ゆんたく広場・理事通信他

障害者虐待防止・権利擁護研修 名護学院家族会にて

9月16日(日)、名護学院家族会に招かれて、名護学院にて、「沖縄県障害者虐待防止・権利擁護研修」の訪問研修を行いました。養護者の育兒・支援放棄や放置、経済的虐待、更には障害年金の一方的な搾取などを中心に講義を行いました。

一昨年に続いて2度目の研修ですが、保護者に混じって学院職員の方にも話を聞いていただき大変感謝しています。障害のある人の権利擁護問題については、障がい当事者や保護者のみならず、施設に係る方々の意識や行動に大きく作用されます。障がい者の親の一人として、学院職員の皆さまの熱心な姿勢に安堵の思いを抱き、学院を後にしました。





第23回育成会文化祭り



♪はじめにみんなで
「手のひらを太陽に」を合唱♪



☆☆
手をつなぎ、このめくもりをわかちあおう
支え支えられ共に暮らせる地域社会を！

9月2日(日)、沖縄市民会館にて「第23回育成会文化祭り」が開催されました。県内各地から舞台発表及び作品展示に21団体、約400名の皆さんに参加していただき、県の名渡山統括監、沖縄市の大城部長ほかご臨席いただきましたご来賓の皆様には、心から感謝とお礼を申し上げます。

当日は、二年前から行っている「てのひらを太陽に」の全員合唱から始まり、約二時間に亘って、一年間練習を積み重ねてきた演目の披露が行われました。

当文化祭りは、障がいのある人の社会参加と、仲間達や県民との相互交流を深める大きな育成会事業の一つであります。風化させてはならない相模原市の障がい者支援施設におきた事件にひるむことなく、今まで運動で積み上げてきた事柄の重要性を再認識し、そこに社会の連帯と共感をもたらされるよう、更に積み重ねていかなければなりません。

私たち育成会は、運動の原点である生まれ育った地域で安心して生活が出来る社会に向けての運動を積み重ね、障がいのある人の社会参加の為に、共生社会の実現を目指す活動を強く推進していく所存であります。



沖縄県育成会：
田中 寛 理事長



沖縄市健康福祉部：
大城 三千代 健康福祉部長



沖縄県子ども生活福祉部：
名渡山 晶子 子ども福祉統括監





文化祭り参加団体から

読谷村父母の会♪

名護市手をつなぐ育成会☆

南城市玉城支部★



NPO法人すずな♪



平成30年度心の輪を広げる
体験作文&障害者週間ポスター審査会

平成30年度「心の輪を広げる体験作文」及び「障害者週間ポスター」の審査委員会が、9月18日（火）沖縄県総合福祉センターにて開催されました。6名の審査員が、応募頂いた作文（46点）、ポスター（8点）を長時間に渡り審査し各賞を決定しました。今回は、中学生部門3名、小学生部門1名、高校生部門1名、ポスター部門3名、小学生部門5名、中学生部門3名です。19名の入賞者の皆様、おめでとうございます。今後のご活躍を祈念致します。



JICA講演会

講師として参加
田中理事長



集合写真☆



8月30日、「地域に根差した障害者への支援」をテーマとした講演会を開催しました。講師として、JICAの活動についてお話いただきました。講演会では、障害者に対する社会的偏見の解消や、障害者への理解を深めるための取り組みについてお話いただきました。講演会には、多くの参加者が集まり、大変盛り上がりました。

理事長行事報告 9月

- ★9月2日(日) 沖縄市民会館 第23回育成会文化祭り
- ★9月7日(金) 県総合福祉センター 30年度虐待防止研修①
- ★9月16日(日) 名護市 名護学院研修会
- ★9月17日(月) 県総合福祉センター 県障害者スポーツ協会会議
- ★9月18日(火) 県総合福祉センター H30年度心の輪審査会
- ★9月20日(木) 県総合福祉センター 第3回育成会理事会
- ★9月20日(木) 県総合福祉センター 県事業所協議会理事会
- ★9月28日(金) コンベンションセンター 民生委員全国大会シンポジスト

理事長行事予定 10月・11月

- ★県外
 - ★10月4日(木) 広島県 全国事業所協議会運営委員会
 - ★10月13日(土) 15日(月) 福井県 第18回全国障害者スポーツ大会
- ★県内
 - ★10月1日(月) 沖縄カントリー H30年度チャリティーゴルフ大会
 - ★10月5日(金) 読谷村陸上競技場 ゆつあいスポーツ大会準備・役員会議
 - ★10月6日(土) 読谷村陸上競技場 第27回沖縄県ゆつあいスポーツ大会
 - ★10月26日(金) 県総合福祉センター 30年度虐待防止研修②

『手をつなぐ・うちな〜』編集者

理事長：田中寛
事務局：高原 奈々・東江 早苗

同中理事長のゆんたく広場

友に教えてもらった英国の喜劇王チャールズ・チャップリンの名言を紹介します。哀愁や怒り、そして涙をユーモアと同時に社会風刺で描いた彼の言葉には味わいがあります。無駄な1日、それは笑いのない日である。

「下を向いていたら、虹を見つけないことなんか出来ない」

「人生は恐れなければ、とても素晴らしいもの。人生に必要なのは勇気と想像力と、少しのお金だけ。」

「私達は皆たがいに助けあいたいと思っている。人間とはそういうものだよ。相手の不幸ではなく互いの幸福によって生きたいのだ。」

「必要なのは知識でなく思いやりである。」

「思いやりがなければ残るのは暴力だけである。心に愛を知らぬものだけが憎しみ合うのだ。」

「人生はクローズアップで見れば悲劇だが、ロングショットで見れば喜劇だ。」

『手をつなぐ』

募集配布
機関誌「手をつなぐ」は、中央情勢・各地育成会の活動、また特集コーナーで、教育・福祉・就労・医療等の最新の情報がわかりやすく掲載されています。
お申込みご希望の方は、育成会まで一度ご連絡下さい。
*年間購読料 3,900円



賛助会員 加入のお願い

平成30年度のスタートを切り、後半の事業が開始しております。昨年同様、沖縄県手をつなぐ育成会へのかわらぬご支援・ご協力をよろしくお願い致します。

☆賛助会員の趣旨☆

沖縄県手をつなぐ育成会は、知的に障がいのある子を持つ親等を中心に結成され、「知的障がい者(児)の心豊かな暮らし」、「社会が障がいの有無に係わらず相互に人格と個性を尊重し合う共生社会」の現実を目標に活動しています。

その目標の下、知的に障がいのある人の自立と社会参加を推進するため、育成会文化祭り、沖縄県ゆつあいスポーツ大会、研修会、本人活動支援事業等多く事業に取り組んでおります。

当会の趣旨にご賛同いただき、活動の資金的なご支援をお願い申し上げます。



理事通信

― チャリティーゴルフ大会 ―

理事 東 宏明



恒例となりました県育成会活動資金造成チャリティーゴルフ大会は、今年も西原町の沖縄カントリークラブの協賛を得て、10月1日に開催いたします。

7月23日第1回の実行委員会を立ち上げ、大会の開催要綱の確認や企業への景品提供のご案内、ゴルフ愛好家や育成会関係者への大会参加の文書発送を行い、今日に至っております。

9月20日の育成会理事会の中間報告において、集まった景品約150点、プレイ予定者178人で、プレイ予定者はほぼ目標人数に達していますが、景品については少し不足している現状でございます。関係者の一層のご協力よろしくお願い致します。

この広報誌の発刊予定日がゴルフ大会の当日に重なりますが、ご協賛いただきました企業の皆様、ご寄付頂きました企業・個人の皆様、大会参加者の皆様本当にありがとうございます。

そして実行委員会の皆様おつかれさまでした。大会の目的が結実することを祈願し、寄稿いたします。